

Press Release

令和4年春の外国人叙勲
ハブ・アーメド・グメル氏

2022年4月29日
在ナイジェリア日本国大使館

2022年4月29日、日本政府は、令和4年春の外国人叙勲受章者を発表しましたところ、ナイジェリアからはハブ・アーメド・グメル氏が叙勲されることとなりました。

同氏は、スポーツを通じた日本・ナイジェリア間の友好親善に寄与した功績が認められ、本年、天皇陛下の名の下に与えられる上位の勲章の一つである旭日中綬章を受章されます。

- ・賞賜： 旭日中綬章
- ・功績概要：スポーツを通じた日本・ナイジェリア間の友好親善に寄与
- ・氏名： ハブ・アーメド・グメル (Habu Ahmed Gumel)
- ・主要経歴：ナイジェリア・オリンピック委員会会長、国際オリンピック委員会委員
- ・住所： ナイジェリア連邦共和国アブジャ市

グメル氏は、ナイジェリア・オリンピック委員会会長及び国際オリンピック委員会委員として、日本オリンピック委員会との関係構築に尽力するとともに、オリンピック競技大会を通じた、長年の日本・ナイジェリアにおける二国間協力の推進に大きく貢献しました。

東京2020オリンピック競技大会の開催地決定においては、票の獲得に大きく貢献した他、同調整委員就任以降は、委員会出席のため年に複数回訪日をし、積極的な議論への参加を通じて、大会の成功に寄与しました。また、木更津市のホストタウン登録への協力や、木更津市長と当国閣僚間のハイレベルな交流を実現させ、当国主要紙にも取り上げられるなど、両国間の人的交流の強化に大きく貢献しました。さらに、ナイジェリア・バレーボール連盟会長として、ナイジェリア代表コーチの筑波大学への短期派遣や、日本からのバレーボール指導者派遣を積極的に実施する等、両国間のスポーツ交流の強化にも貢献しました。

旭日中綬章



旭日中綬章は、最も格の高い旭日章の一つで、明治8年（1875年）に我が国最初の勲章として制定されました。勲章のデザインは、昇る朝日と日射しをかたどっています。天皇陛下の名の下、国際関係、日本文化の促進、福祉の向上、環境保存において顕著な功績を挙げた者に授与されます。旭日章は以下で構成されます。

1. 旭日大綬章
2. 旭日重光章
3. 旭日中綬章
4. 旭日小綬章
5. 旭日双光章
6. 旭日単光章